

「骨髓バンク」にご登録ください！

日本で骨髓バンクを介する移植を必要とする患者さんは、毎年2千人を超えています。一方で、「18歳から54歳まで」という年齢制限などにより、年間2万人の方がドナー登録を外れます。1人でも多くの患者さんを救うために、これからの骨髓バンクのために、ドナー登録にご協力ください。



骨髓バンクとは？

あなたを待っている人がいます。

白血病や再生不良性貧血などの病気は、移植により患者さんが健康をとりもどせるようになりました。

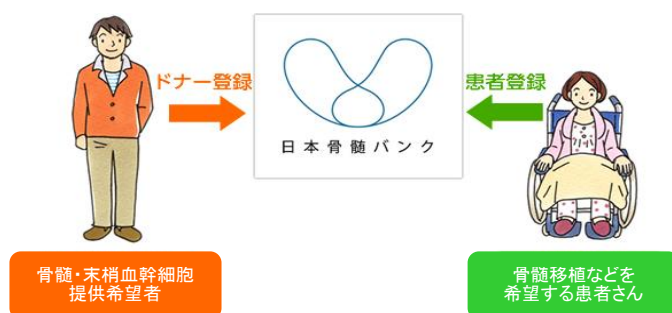
しかし、移植が成功するには、患者さんと提供者（ドナー）の白血球の型（HLA型）が適合することが必要です。

このHLA型が一致する確率は、兄弟姉妹で4人に1人ですが、それ以外では数百人から数万人に1人しか一致しません。

そのため、1人でも多くの患者さんを救うために、広く一般からドナーを募る骨髓バンクが必要となるのです。

移植とは？

正常な造血が行われなくなった患者さんの造血幹細胞を、健康な人から提供された骨髓や末梢血中の造血幹細胞に置き換え、病気を根本的に治療しようというのが骨髓移植・末梢血幹細胞移植です。



登録窓口・お問い合わせ先

ドナー登録を希望される方は、下記の登録窓口(☆)へお越しください。受付時間は、窓口にご直接お問い合わせください。

施設名	電話番号	受付日
☆ 桑名保健所	0594-24-3623	平日(※)
四日市市保健所	059-352-0585	—
☆ 鈴鹿保健所	059-382-8674	平日(※)
津保健所	059-223-5112	—
☆ 松阪保健所	0598-50-0529	平日(※)
伊勢保健所	0596-27-5151	—

施設名	電話番号	受付日
☆ 伊賀保健所	0595-24-8080	平日(※)
☆ 尾鷲保健所	0597-23-3461	平日(※)
☆ 熊野保健所	0597-85-2159	平日(※)
☆ 三重県赤十字血液センター	0120-05-5632	火曜日以外
☆ 四日市献血ルーム サンセリテ	0120-39-5863	月～日曜日
☆ 伊勢献血ルーム ハートワン	0120-25-7821	金曜日以外

※事前にご連絡のうえ、お越しください。

■ 骨髓バンク登録会 ■

各保健所が実施する献血街頭ページェントの際に、献血バス併行型のドナー登録会を実施しています。献血併行登録会の予定は、各保健所にお問い合わせください。

■ 献血にご協力ください ■

骨髓移植・末梢血幹細胞移植では、血小板などの輸血が不可欠です。

ドナー登録の際や、日常的にも、ぜひ献血にご協力ください。

骨髓バンクに関するご質問・お問い合わせは

TEL 03-5280-1789

日本骨髓バンク

<http://www.jmdp.or.jp/>

■ ドナー休暇制度について（事業者のみなさまへ）

日本骨髓バンクを介して骨髓提供をする場合、患者さんと適合してから採取後の健康診断に至るまでに、8回前後、平日の日中に医療機関へ出向いていただくことになります。

その日数を、ドナー自身の有給休暇を使うのではなく、勤務先がその休日を特別休暇として認めるのが「ドナー休暇制度」です。勤務先に「ドナー休暇制度」があることは、ドナーの心理的・肉体的な負担の軽減になります。

ドナー候補者の多くは働き盛りの年齢です。提供のための時間を捻出することは容易ではないと思いますが、職場のご協力や働き方の工夫によっては、提供が可能になることもあります。

お勤めになられている職員の方が安心してドナー登録ができるよう、ドナー休暇制度の導入にご協力をお願いいたします。

生きるチャンスを善意によって広げてゆく

骨髄バンクの現状は？

日本では毎年新たに約 1 万人の方が、白血病などの血液疾患を発症しています。そのうち、骨髄バンクを介する移植を必要とする患者さんは、毎年 2000 人以上です。

骨髄バンクに登録している患者さんのうち、実際に移植を受けることができる方は、約 6 割です。

一人でも多くの患者さんを救うために、一人でも多くのドナー登録が必要です。

骨髄移植とは？

骨髄は骨の内部に存在するスポンジ状の組織で、その中に多くの造血幹細胞（白血球・赤血球・血小板のもとになる細胞）が含まれています。

骨髄移植はドナーに全身麻酔して注射器で骨髄液を吸引し、採取した骨髄液を患者の静脈へ点滴で注入する治療法です。



ドナー登録できる方の条件は？

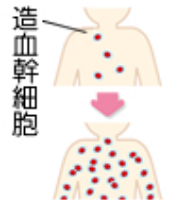
- ◆骨髄・末梢血幹細胞の提供の内容を十分に理解している方
- ◆年齢が 18 歳以上、54 歳以下で健康な方
- ◆体重が男性 45 kg 以上、女性 40 kg 以上の方

※提供できる年齢は 20 歳以上、55 歳以下です。
提供にあたっては、家族の同意が必要です。

末梢血幹細胞移植とは？

末梢血（全身を流れる血液）には、通常、造血幹細胞はほとんど存在しませんが、白血球を増やす薬（G-CSF）を注射すると、末梢血中に流れ出します。採血前の 3～4 日

間、連日注射し造血幹細胞が増えたところで、血液成分を分離する機器を使い造血幹細胞を採取し、骨髄移植と同様の方法で患者さんに注入します。



いのちを救えるのはあなたかもしれない

骨髄・末梢血幹細胞を提供するには？ ～ドナー登録から提供までの流れ～

◎意思表示

ドナー登録を希望される方は、裏面の問い合わせ先へお電話ください。



◎ドナー登録

腕の静脈から約 2 mL を採血し、HLA 型（白血球の型）を調べます。HLA 型はコンピューターに登録されます。



◎適合したら

患者さんの HLA 型と適合すると、コーディネーターと医師が詳しい説明と問診を行います。



◎最終同意

ドナーに選ばれると、コーディネーターと医師が、立会人同席のもとドナー候補者とご家族の最終的な提供意思を確認します。

◎骨髄提供の場合

提供には通常、3 泊 4 日の入院をします。ドナーは提供の 1～2 日前に入院し、健康チェックと説明を受けます。



◎末梢血幹細胞提供の場合

白血球を増やす薬（G-CSF）を 3～4 日間注射し、原則 1 泊 2 日の入院をします。



◎提供後、数日内で退院

提供後、数日内で退院し、日常生活に戻ることができます。退院後は、定期的にコーディネーターがドナーの健康をフォローアップします。